

アジアの将来の女性リーダーを目指すため、バン  
グラデシュの国際大学「アジア女子大学(AUW)」  
で学ぶ5カ国・5人の学生たちが先月、彼女らに奨

学金を支給する東京都内のNPO法人の招きで来日  
した。女性の社会進出を阻むそれぞれの国の課題や、  
日本の女性へ伝えたいことを聞いた。(柏崎智子)



アジアの女性を取り巻く現状について語る(左から)  
ラキシнда・シャキールさん、リーシャ・スツバさ  
ん、スマイヤ・シャルミンさん、スーザン・シトゥ  
ーラさん、アズラ・ジャワイドさん=東京都内で

# 男社会 変える教育必要

## アジア女子大生が来日 母国の実情伝える

### 可能性が広がる

バングラデシュ、ネパ  
ル、インド、ブータン、パ  
キスタン出身の五人は、日  
本のNPO法人「JKSK  
女性の活力を社会の活力  
に」(木全ミツ理理事長、東  
A UWに入り直した。アジ

京都目黒区)などの奨学金  
で、学費をまかなっている。  
ラキシнда・シャキール  
さん(ニールパキスタン)は  
いったん進学した自国の大  
学で、周囲が社会問題への  
関心が薄いことに落胆し、  
A UWに入り直した。アジ

ア各国から学生が集まる国  
際的な環境や、言語や宗教  
など幅広い教養を重視する  
教育に満足し「ここで本当  
の自分を見つけた」。  
スマイヤ・シャルミンさん  
(ニール)バングラデシュも  
「可能性が広がるのを感じ  
ている」と目を輝かせる。

### 「女は家庭」

スーザン・シトゥーラさ  
ん(ニール)ネパールは「結  
婚して仕事を続けるのは良  
い妻ではないと見られる。  
家事や祭りの手伝いは女性  
としてやるのが当たり前  
前」。アズラ・ジャワイド  
さん(ニール)インドも「人

口の多いインドは男性も就  
職難。女性は性差別とのタ  
ブルパンチを受けている」  
と母国の実情を話した。  
バングラデシュは、十代  
前半で結婚する児童婚の割  
合が高い。シャルミンさん  
は「高等教育を受けられ  
ず、仕事も持てない」と指  
摘する。国際的な批判を受  
けて政府は二〇四一年まで  
に児童婚を廃絶すると宣言  
したが、初潮が来たり見た  
目が大人びていれば結婚し  
てよいという考え方は農村  
部を中心に根強い。

### かぎは教育

「女性差別の背景の一つ



アジア女子大学(AUW) アジアの発展や  
安定のためには不平等な立場に置かれてきた女  
性へ高等教育を与え、リーダーを育てることが必要  
という世界銀行や国連教育科学文化機関(ユネスコ)  
などの提議で、2008年にバングラデシュ・チッタ  
ゴンに設立された国際大学。ほとんどの学生が奨学金  
を受給。JKSKは09年と14年の入学者各5人に、1  
人あたり年間20万円を5年間支援している。

## 「日本は自由がある 可能性信じて」

には宗教が挙げられるが、  
権力を持つ男性たちが教え  
を都合よく誤った解釈で広  
め、法やシステムに反映さ  
せている」とシャキールさ  
んは分析する。「イスラム  
圏では、女性に「スカート  
をはいて外へ出たらレイプ  
されても仕方ない。身を隠  
せ」と教える。本来は男性  
に「女性に礼儀正しくし  
る」と教えるべきなのに」  
リーシャ・スツバさん  
(ニール)ブータンは、A U  
Wで学び女性が不利な立場  
に置かれていることに気が  
ついた。「性差別の状態を  
『伝統』と言われ、多くの  
女性は疑問を持てずにい  
る。深く考えることが必  
要」

### 自信を持って

日本の女性へのメッセー  
ジを聞いた。五人は声をそ  
ろえて「恥ずかしがらず、  
自信を持って!」。シャキ  
ールさんは「日本の女性に  
は何にでもなれる自由があ  
る。それは、私たちがのど  
から手が出るほど欲しいも  
の。自分の力と可能性を信  
じ、新しいことに挑戦して  
ください」とエールを送っ  
た。

## わたしの夢

★東京都昭島市 小学2年・樋口侑里香さん★



「たーてい」

生活を送っているように。

子どもにかか行も

その崎を時時参付(3)テ

イズア  
」会議  
駅)。参  
ナー」

飯田橋 古い支度セミナー 自分が、  
親が 70過ぎたら必ず備える  
こととは 25日13時30分~16時、セント  
ラルプラザ10階の東京ボランティア・市